

霞ヶ浦二橋計画について



はやし しょうこ
林 昌子
議員

質問 近隣の11市町村で構成している「霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟会」が平成8年より毎年県知事に要望書を提出しているが進捗状況は。

答弁（総務部長） 毎年、架橋に関する調査研究、整備を所管する県各部署や県議会等へ陳情をしている。また、霞ヶ浦二橋建設の重要性をPRするため、建設促進の看板を設置。県総合計画においても、将来構想到に位置づけ期待は大きい。しかし、膨大な事業費となるため、着手は難しい状況だが、村としても積極的に県に要望推進を続ける。

質問 土浦協同病院の移転に伴い利用者、勤務者が不便を来すことで、橋の建設要望が増えている。県に対し陳情を提出し強い働きかけを求める。

答弁（村長） 要望だけでは前に進まないで、県に調査費を算出してもらい国県はもちろん11市町村もある程度予算化していくことをお願いしている。橋がかかれば、土浦協同病院も、茨城空港も近くなり経済効果もあり、市町村に大きな影響をもたらすという点を訴えていきたい。

豊かな自然と歴史を巡る街づくり

質問 国の「かわまちづくり事業」の助成制度を活用し、次の3点について霞ヶ

- 浦湖岸等の整備を。
- ① 本村のサイクリングロード整備、桜の木植樹計画
 - ② 大須賀津湖畔農村公園の整備及び馬掛ロードパーク上の公園の名前、看板の設置
 - ③ 国立病院跡地の活用

答弁（経済建設部長） ① 国が行う事業は、安心・安全に係る河川管理施設のみで、川にかかる橋梁の整備等は難しいが、サイクリングロードは県の事業として整備していただくことが妥当と考え、桜の木の植樹と併せて、整備ができるか検討し、県に要望する。

② 農村公園については、職員が定期的な清掃、除草等をしているが、今後も適正に管理、PRに努める。馬掛のロードパーク上の公園は、まだ利活用が決まっていないため、正式名称はつけられないが、展望できる場所があるという案内看板の設置は検討する。



馬掛ロードパーク付近から見た筑波山と霞ヶ浦

答弁（村長） ③ 貴重な建物等ではあるが、戦争の悲惨な出来事を思い出す方もいらっしやる。確かに事実として後世に伝え、二度と戦争を起ささないという歴史的な部分を伝えることも必要だと思う。現時点では難しいが、時期が来た時には歴史の資産としていければと思う。